

令和5年度実施施策に係る政策評価書

(農林水産省5-15)

政策分野名 【施策名】	農村を支える新たな動きや活力の創出
政策の概要 【施策の概要】	地域を支える体制及び人材づくり、農村の魅力の発信、多面的機能に関する国民の理解の促進等
政策に関する内閣の 重要政策 【施策に関する内閣の 重要政策】 (施政方針演説等のうち主なもの)	・食料・農業・農村基本計画(令和2年3月31日閣議決定)第3の3(3)

施策(1)	地域を支える体制及び人材づくり										
目標①【達成すべき目標】	地域運営組織の形成等を通じた地域を持続的に支える体制づくり										
測定指標	ア 農業生産活動等の体制整備に取り組む集落協定のうち、新たに集落戦略を策定した協定の割合【再掲】		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度		
		実績値		－	－	39%	60%				
		達成度合い		(－:－)	(－:－)	(B: 65.0%)	(B: 75.0%)	(:)			
年度ごとの目標値			0%	－	－	60%	80%	100%	100%	B	S↑一直
把握の方法	出典:農林水産省農村振興局調べ 作成時期:調査年度の翌年度8月頃 算出方法:毎年度の中山間地域等直接支払制度の実施状況調査により、農業生産活動等の体制整備に取り組む集落協定及び集落戦略を策定した協定数を把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度実績値／当該年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	集落戦略の作成にあたっては、集落協定の参加者全員で集落全体の将来像、課題、対策について十分に話し合いを行い合意形成を図る必要があることから、令和2年度、令和3年度の目標値は定めない。										
目標②【達成すべき目標】	関係人口の創出・拡大や関係の深化を通じた地域の支えとなる人材の裾野の拡大										
測定指標	ア グリーン・ツーリズム施設年間延べ宿泊者数及び訪日外国人旅行者数のうち農山漁村体験等を行った人数【再掲】		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	30年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
		実績値		519 万人/年	553 万人/年	686 万人/年	968 万人/年				
		達成度合い		(－:－)	(C: 41.3%)	(C: 49.4%)	(B: 67.2%)	(:)			
年度ごとの目標値			1,212 万人/年	－	1,340 万人/年	1,390 万人/年	1,440 万人/年	1,490 万人/年	1,540 万人/年	B	F↑一直
把握の方法	出典:「農林業センサス及び漁業センサス」(農林水産省統計部)、「訪日外客数統計」(日本政府観光局)及び農林水産省農村振興局調べ 作成時期:調査年度の翌年度7月頃 算出方法:各統計情報及び各都道府県への聞き取り結果を農林水産省にて集計										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度実績値／当該年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											

目標③【達成すべき目標】多様な人材の活躍による地域課題の解決											
測定指標	ア 地域活性化対策において、新たに外部人材を活用した人数		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度		
		実績値		－	36人	44人	55人				
		達成度合い		(－：－)	(A: 90.0%)	(B: 73.3%)	(B: 68.8%)	(：)			
	年度ごとの目標値		0人	－	40人	60人	80人	100人	100人		
把握の方法		出典：農林水産省農村振興局調べ 作成時期：調査年度の翌年度7月頃 算出方法：事業実施主体への調査									
達成度合いの判定方法		達成度合(%)＝当該年度実績値／当該年度目標値×100 A'ランク：150%超、Aランク：90%以上150%以下、Bランク：50%以上90%未満、Cランク：50%未満									
備考											
施策(2)		農村の魅力の発信									
目標①【達成すべき目標】副業・兼業などの多様なライフスタイルの提示											
測定指標	ア 地域活性化対策において、多様なライフスタイルへの肯定的意見のあった割合		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
		実績値		－	－	80%	90%				
		達成度合い		(－：－)	(－：－)	(A: 108.1%)	(A: 118.4%)	(：)			
	年度ごとの目標値		0%	－	－	74%	76%	78%	80%		
把握の方法		出典：農林水産省農村振興局調べ 作成時期：調査年度の翌年度7月頃 算出方法：事業実施主体を通じた参加者への調査(「将来的に農山漁村で農林水産業に就業する意欲が高まった。」「将来的に研修地域への移住意欲など再来訪意欲が高まった。」等の回答数／有効回答数)									
達成度合いの判定方法		達成度合(%)＝当該年度実績値／当該年度目標値×100 A'ランク：150%超、Aランク：90%以上150%以下、Bランク：50%以上90%未満、Cランク：50%未満									
備考											
目標②【達成すべき目標】棚田地域の振興と魅力の発信											
測定指標	ア 指定棚田地域振興計画を策定した地域数		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度		
		実績値		－	380 地域	416 地域	436 地域				
		達成度合い		(－：－)	(A: 108.6%)	(A: 104.0%)	(A: 96.9%)	(：)			
	年度ごとの目標値		0 地域	－	350 地域	400 地域	450 地域	500 地域	500 地域		
把握の方法		出典：農林水産省農村振興局調べ 作成時期：調査年度末 算出方法：指定棚田地域振興活動計画認定の際に、同計画の認定地域数を把握									
達成度合いの判定方法		達成度合(%)＝当該年度実績値／当該年度目標値×100 A'ランク：150%超、Aランク：90%以上150%以下、Bランク：50%以上90%未満、Cランク：50%未満									
備考											

目標③【達成すべき目標】		様々な特色ある地域の魅力の発信									
測定指標	ア 新たに景観農業振興地域整備計画又は歴史的風致維持向上計画(農村景観等農村の風致を計画の中に位置付けたものに限る。)を策定した市町村数		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	2年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
		実績値		－	55 市町村	58 市町村	62 市町村				
	達成度合い		(－：－)	(A: 93.2%)	(A: 90.6%)	(B: 89.9%)	(：)		B	S↑－直	
年度ごとの目標値		54 市町村	－	59 市町村	64 市町村	69 市町村	74 市町村	75 市町村			
把握の方法		出典:農林水産省農村振興局調べ 作成時期:調査年度末 算出方法:認定等された計画数を集計									
達成度合いの判定方法		達成度合(%)＝当該年度実績値／当該年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満									
備考											

施策(3)		多面的機能に関する国民の理解の促進等									
目標①【達成すべき目標】		多面的機能に関する国民の理解の促進									
測定指標	ア 多面的機能の理解の醸成に向けた取組数		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
		実績値		－	－	345件	395件				
	達成度合い		(－：－)	(－：－)	(A: 111.3%)	(A: 123.4%)	(：)		A	S↑－直	
年度ごとの目標値		305件	－	－	310件	320件	330件	340件			
把握の方法		出典:農林水産省農村振興局調べ 作成時期:調査年度の翌年度7月頃 算出方法:事業実施主体への聞き取りを踏まえ農林水産省にて集計									
達成度合いの判定方法		達成度合(%)＝当該年度実績値／当該年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満									
備考											

評価結果	目標達成度の測定結果	(各行政機関共通区分)	③相当程度進展あり
		(判断根拠) 測定指標数7個のうち、Aが3個、Bが4個となっており、「③相当程度進展あり」と判定した。	
	測定指標についての要因分析 (達成度が悪い場合等) 【施策の分析】	-	
	次期目標等への反映の方向性	-	

学識経験を有する者の知見の活用	・実績値の把握が間に合っていない指標もあり、現場ではこれらの調査で大変苦労されているが、要因分析や改善点の把握に役立つことは事業者にとっても非常に有意義なものであることを事業者へ周知するとともに、実際どうだったか等の聞き取りといった把握方法も検討する必要があるのではないか。(田中委員) →数値の把握については、委員意見のとおり。 現在取り組んでいる調査については引き続き行っていくが、調査結果の背景を周知し、また必要に応じて聞き取りを行うことで、具体的な考えや、様々な意見を得られると考えられるので、そういったものもできるだけ汲み取っていきたい。 【(2)①ア】地域活性化対策において、多様なライフスタイルへの肯定的意見のあった割合 ・多様なライフスタイルへの肯定的意見が多かったのは、もともと肯定的な意見をもった者が事業へ参加していたためであり、これを成果とするのは国民の意見としてバイアスがかかっているのではないかと。(藤栄委員) →頂いた意見をよく勘案しつつ、次の基本計画を踏まえ、施策の効率・効果がよりわかりやすい指標となるよう検討したい。		
-----------------	---	--	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	-
---------------------------	---

評価結果の政策への反映状況 (主なもの)	予算	令和7年度予算概算要求において、関連予算(政策手段(1)、(2))を引き続き要求する。
	税制	-
	その他 (法令、組織、定員等)	-

担当部局名	農村振興局 【農村振興局農村計画課/地域振興課】	政策評価実施時期	令和7年1月
-------	-----------------------------	----------	--------

※ 測定指標の詳細及び政策手段については、令和6年度事前分析表をご覧ください。